

令和5年度学位記授与式 理事長挨拶

学位記並びに修了証書を授与された卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ご家族の皆様にも、この日を迎えられたことをお喜び申し上げますとともに、これまでの本学運営へのご理解と、ご支援を賜りましたことに対し厚くお礼を申し上げます。

また、宮崎県知事 河野 俊嗣様、宮崎県議会議長 瀨砂 守様をはじめご来賓の皆様には、大変お忙しい中ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

さて、皆さんの中には4月に進学し、より高度な教育や資格取得を目指す方もおられますが、多くの方は社会人として新たな一步を踏み出されることと思います。

この新たな社会においては、皆さんが経験してきた大学入試や看護師国家試験のように問題の正解が一つ決まっているということは少なく、むしろ正解のない課題に直面することの方が圧倒的に多いと言えます。そして、正解がない中でも、個人としてあるいは組織として最適と思える答えを出していかなければなりません。

本学在学中、皆さんは専門的な知識や技能に加えて、主体的に考え行動する力、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力、そして多様な個性や考え方を尊重し、他者との人間関係を築く力を育んできたことと思います。新しい社会での課題解決においては、これらの力が大変重要となります。どうか遺憾なく発揮し、よりよい答えを導き出していただきたいと思います。

また、現代は「不確実性の時代」や「^ブ^ー^カVUCAの時代」と言われています。これは、私たちを取り巻く環境が急速に変化をするとともに、不確実な要素が多く予測できないことが発生するということ、そして、その内容が複雑で解決が困難な状況を言うようです。

この数年の世界を見ても、新型コロナウイルスによるパンデミック、ウクライナや中東での紛争、甚大な被害をもたらした自然災害などが発生するとともに、AIなどデジタル技術が急速に進展し、私たちの生活・仕事に直接・間接に様々な影響を及ぼしています。それ故に私たちはこれらの社会環境の変化に無関心

ではられません。変化に対応していく能力、変化を受け入れ自己変革する力も場合によっては求められますので、生涯を通して自己研鑽する姿勢を忘れないでください。

終わりに、皆さんには本学の卒業生、修了生であることに自信と誇りを持ってこれからの人生を歩んでいただきたいと思います。壁に突き当たった時には、医療従事者としての原点である本学での学びを思い出してください。

心身の健康には十分に留意をされ、ご活躍されますよう祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

令和6年3月18日

公立大学法人 宮崎県立看護大学 理事長 藪田 亨